

原稿募集中!

編集後記

◇今月号は、物質の科学としての地球科学の分析法としての位置を確立しつつある二次イオン質量分析法に関する特集する。平田岳史氏および森下祐一氏の全面的な協力のもとに作成され、まさに SIMS の“いろは”から“せすん”(本号 平田・森下)となりました。先端分野と言われるエレクトロニクスやバイオなどでは、一つ一つの極微小単位に機能を持たせようとしています。ここでは、岩石や隕石などの構成要素の一つ一つから地球からの、そして宇宙からのメッセージを読み取ろうとしています。

◇地質ニュースも地球科学からのメッセージを広く読者へ伝える役割を担っています。私達編者は水準の高い内容を読み取り易い媒体に託して皆さんにお届けする義務があります。先月号に掲載された「最近の地質ニュースを読んで」(読者の欄)は、私達にとって貴重な御意見です。取り上げるテーマ、内容や切口、さらに紙面作りの上でも参考にさせていただきたいと考えています。それにもまして、定期刊行物は定期的読者のもとへ届くことが大切です。いくら努力しても結果がそうならない限り、編者の責任は逃れられません。早梅の季節の2月号が桜の頃に出てしまいそうで、申し訳ありません。

◇本特集号は本文増頁によりカラー口絵が通常より少なくなりましたが、次号より再び4頁建ての口絵記事へもどる予定です。

(宮崎光旗 記)

地質ニュースに寄稿される方へ

1. 地球科学各分野の最近の話題・総説・解説など多方面の原稿を募ります。
2. 原稿は図・表・写真を含め、原則として刷上がり15ページ以内とします。これをこえる場合は事務局に相談して下さい。地質ニュース原稿用紙(25×18字)4枚半が1ページに相当します。
3. ワードプロセッサ使用の場合も、A4判用紙に1行25字とし、行数は20-25行程度として下さい。
4. 句読点・引用符などもすべて1字として下さい。
5. 図・表・写真は本文とは別に1枚1ページとして、それぞれに番号をつけるとともに、希望する掲載サイズを余白に記入して下さい。これらにつける説明文は、本文とは別の原稿用紙に書いて下さい。とくに図と写真は、縮小率を考え鮮明なものを出して下さい。
6. 原稿の右欄外に図・表・写真の希望する挿入位置を鉛筆で記入して下さい。
7. 表紙やグラビアに用いるカラー写真は、プリント版の他に原版のポジ(スライド)を提出して下さい。プリント版のみの場合は、カビネへ六切サイズ(表紙は六切)のものに限ります。
8. 原稿は事務局に提出して下さい。編集委員会から受付カードを発行します。掲載は原則として受付順としますが、速報性の高いものは優先的に印刷したいと思います。

<地質ニュース編集委員会>

購読者募集中 申し込みは編集委員会へハキガで

地質ニュース編集委員会

委員長: 佐藤壮郎

副委員長: 佐藤典平・磯部一洋

幹事: 宮崎光旗・尾上亨

委員: 滝沢文教・岡村行信・鹿野和彦・山口靖・金沢康夫・佐藤岱生・松本則夫・三田直樹・松浦浩久・渡部芳夫

事務局: 総務部業務課広報係(山口秀樹・斎藤賢二)

〒305 つくば市東1-1-3 地質調査所

地質ニュース編集委員会

事務局 Tel. 0298-54-3520

Fax. 0298-54-3533

地質ニュースに対するご意見は編集委員会へ

地質ニュース

第450号 1992年2月号

定価 ¥700 千実費

1992年2月1日 発行

編集

工業技術院地質調査所

発行人

林久雄

発行所

株式会社実業公報社

東京都千代田区九段南4の2の12

〒102

Tel. (03)3265-0951(代表)

振替口座 東京1-32466

麹町局私書箱第21号

印刷

奥村印刷株式会社

©1992 Geological Survey of Japan

●本誌は東京都の震が関政府刊行物サービスセンター、八重洲ブックセンター(株)本店およびつくば市の友朋堂書店本店に常備してあります。品切れの際は店頭で注文してください。